

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立可児工業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和4年2月3日(木)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

会長	大杉 守平	可児市中恵土自治連合会長
副会長	松岡 勝哉	PTA役員
委員	牛江 明美	可児市立図書館長
	渡辺 恒代	元PTA役員
	今井 真実	元PTA役員
	各務 眞弓	可児市多文化共生センター事務局長
	藤田 幸夫	同窓会長
学校側	中西 竜也	校長
	鎌田 知子	事務長
	加藤 昌宏	教頭
	水野 茂之	教務主任
	三輪 武	生徒指導主事
	林 貴康	進路指導主事
	水野 貴仁	機械科主任
	小川 英幸	電気システム科主任
	平野 隆英	化学技術科主任
	宮田 忠夫	建設工学科主任

5 会議の概要

(1) スクール・ポリシーについて

第2回に提示した案を基に、改善を加えて全員より承認を得た。

(2) 各科の取組について

意見1：「課題研究」は、それぞれ専門分野の学びを生かした特徴のある取組で面白い。また、建設工学科の生徒が、全国高校生建築製図コンクールの木造二階建専用住宅部門で最高賞の金賞に輝いた実績は素晴らしい。

意見2：各学科とも、日頃の勉学の成果を自由な発想で取り組んで製作していた。地元企業の協力を得た作品もあり非常によかった。

意見3：コロナ禍での新しい過ごし方を模索する内容もあり、よく考えられていた。

意見4：前回、生徒たちの頑張っている姿を見学した。災害時に役に立つ「かまどベンチ」の

制作に感心した。使用する機会がないことを願うが、自宅にも1つ欲しくなる作品であった。

意見5：計画通りの成果を出せなかった取組も、仲間と計画を立て、目標に向かって取り組んできた時間は大切なものとなっている。

(3) 主要3分掌の取組について

意見1：入学したい高校を決定する時期は、中学3年生の前期なので、中学2年生の頃に高校の魅力を発信する必要がある。

意見2：いろいろな活動の様子を知ることができた。特に卒業生と語る会が興味深い。進路ガイダンスも各学年で取り組み、就職に向けた活動も充実し、普通科との違いを実感した。

意見3：スクール・ポリシーにある「人間性豊かな工業技術者」「豊かな人間性・生きる力」が大事である。これらを充実させ、工業高校の意義、良さをPRしてほしい。

意見4：出願状況を見ると、志願者が年々増加傾向にある。パンフレットや体験入学等、工業高校の「面白さ」「楽しさ」が伝わった結果であると感じる。

意見5：校則について、他校と比較しても自由がないように感じる。PTAも交えた見直しの協議を期待する。

意見6：PTA進路委員を加えた就職者面接指導がコロナ禍で中止となり残念だった。

意見7：校則の見直しについては、時代の流れであり、必要なことだと思う。ただ、個性・個人の尊重も大切であるが、学生らしさ、規則を守ることも学んでほしい。

6 会議のまとめ

まん延防止等重点措置の期間が延長されたため、第3回学校運営協議会は書面開催とした。

今後の本校教育活動に対して様々な視点からアドバイスが得られた。意見を真摯に受け止め、さらに魅力ある学校運営に励みたい。